



予算案を議会で説明する高木市長

新生前橋の元気な飛躍を

積極型の予算で事業を進めます

平成十八年度の各会計予算が先月の市議会第一回定例会で可決しました。総額二千四百一億五千二百四十四万円余り。ここでは主な事業や施策などを紹介します。なお、金額の一万円未満は端数整理しました。また、ホームページにも予算についての詳しい資料を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

平成18年度各会計予算		
会計名	当初予算額	
一般会計	1,189億5,591万円	
特別会計	国民健康保険	273億1,775万円
	老人保健	275億7,330万円
	競輪	257億8,379万円
	農業集落排水事業	8億6,861万円
	介護保険	169億6,659万円
	簡易水道事業	3,708万円
	計	985億4,712万円
企業会計	水道事業	101億9,484万円
	下水道事業	126億8,311万円
	農業共済事業	7億7,116万円
計	236億4,911万円	
合計	2,411億5,214万円	

市議会定例会での市長説明から

予算編成の基本的な考え方

市議会が高木市長が説明した予算の概要などは次のとおりです。

本年度の予算はわたしが掲げる「元気で楽しい前橋」の実現に、さらに近づけるための予算になるよう編成しました。地域の発展、地域経済の活性化、さらには中心市街地の再生など、より具体的な施策を展開するとともに、中核市移行に向けた取り組みを推進。新生前橋の飛躍につながる年にしたいと考えています。

ケールメリットを一層活用するとともに、行政のスリム化、歳出予算の効率化によって財政の健全化にもますます努めています。

特に、市債については、次世代を担う子どもたちに負債を先送りしないため、市債の発行額を元金償還金の範囲内に抑制。その結果、十億円余りの市債残高を縮減できる見込みです。三年間で約七十三億円の縮減となり、着実に財政の健全化が図られていると考えています。

この結果、一般会計の予算規模は、総額千八百八十九億五千五百九十一万円で、対前年度比二・二％の増。国で示す地方財政計画のマイナス〇・七％増を大幅に上回る積極型予算となりました。

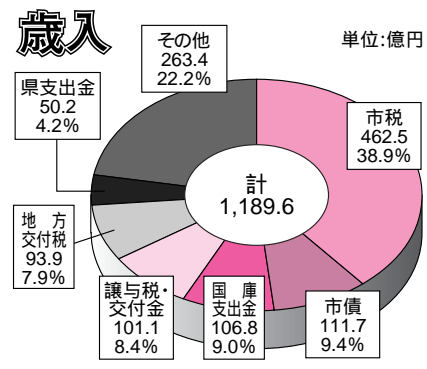
市税収入が伸び悩む中で、三位一体改革の影響による地方交付税や国庫支出金などが減少する一方、少子高齢化が

さらに進み扶助費などの経費が増大。本市の財政状況は引き続き、大変厳しい状況にあります。このため、軽自動車税をコンビニでも納税できるようにし、市のホームページや封筒などの印刷物に広告を掲載することによって、財源確保に取り組みます。

また、事務事業のさらなる見直しや、費用対効果を念頭に置いて、実効性のある行政運営に努め、誰もが安全に安心して快適に暮らせるまちづくりに全力を尽くしていきます。

一般会計 歳入

市債残高を縮減するなど 財政の健全化へ努力



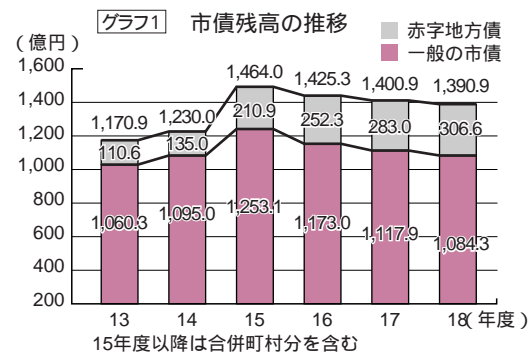
市税 = 市民税、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税 市債 = 市が特定の事業に充てる長期的借入金 国庫支出金 = 国が使い道を指定し交付 譲与税・交付金 = 地方譲与税など国税の一部を地方に交付 地方交付税 = 自治体間の財源調整のため使い道を定めず国が交付 県支出金 = 県が使い道を指定し交付 その他 = 使用料・手数料や基金繰入金など

市税

個人市民税の恒久的減税縮小など、税制改正によって個人市民税と市たばこ税は増収が見込まれるものの、固定資産税は評価替えに伴う家屋評価の減などによって、大幅な減収が見込まれており、市税全体では対前年度で一億五千万円、〇・三％の増となっています。

市債

市債残高は、前年度に比べ約十億円縮減できる見込みです。グラフ1のとおり、市債総額と一般の市債残高は十六年度以降縮減されていますが、赤字地方債は十三年度以降、徐々に増加。これは国の財源



不足や減税政策による影響を受けたためです。

本年度の市債予算額は百一億七千五百五十万円を計上しました。後年度に、地方交付税の支援を受けることができると、合併特例債を有効に活用して、支援のない通常の市債を二十億円減額しています。

譲与税・交付金など

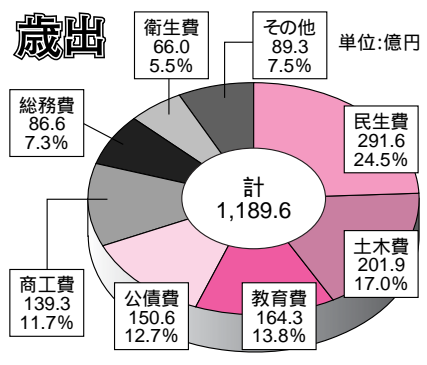
国の三位一体改革では、地方交付税や国庫支出金の大幅な減額が見込まれますが、所得譲与税は国庫補助負担金改革に伴う財源補てんによって増額を見込んでいます。

その他

基金からの繰り入れでは、厳しい財政状況を踏まえ昨年度残高の維持に留意しました。

一般会計 歳出

主な3つの施策を 重点的に進めます



民生費 = 身体障害者・高齢者・児童福祉、生活保護など 土木費 = 道路・公園の建設維持、都市計画、土地区画整理など 教育費 = 小中学校、市立前橋、幼稚園、前橋工科大、社会教育、保健体育など 公債費 = 市の借入金や利子償還金 商工費 = 商工業や観光、消費生活対策など 総務費 = 市の内部管理、支所運営など 衛生費 = 健康づくり、ゴミ処理など その他 = 消防費、農林水産業費など

一般会計歳出の内訳については、右の円グラフのとおりです。

予算の特徴について詳しくは4以降で説明します。主な施策を「新生前橋の飛躍に向けた取り組み」「地域特性を活かした『生命都市』への取り組み」「主要八分野の施策推進の具体的な展開」の三つの柱に分けて、主要事業の展開について紹介します。